

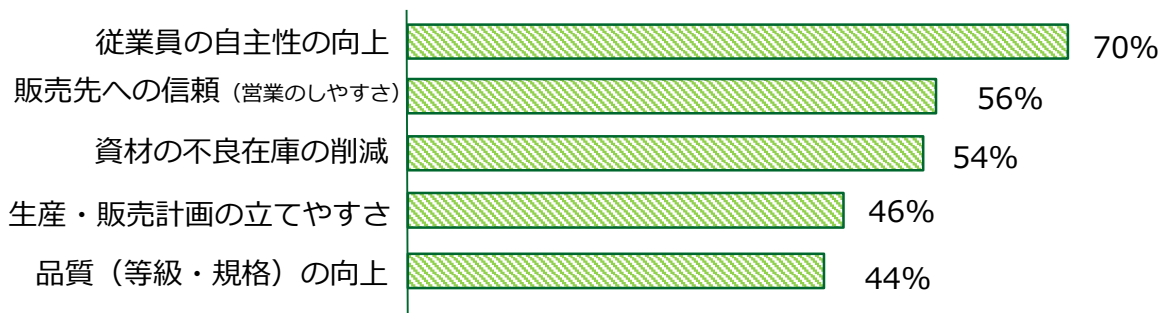
# 「GAP」でより良い農業経営を！

GAP（Good Agricultural Practice）とは、  
農産物（食品）の安全を確保し、より良い農業経営を実現する取組！

- 農産物の生産で最も重要なことは、食品としての安全を確保することです。
- **食品安全**だけでなく、**環境保全**、**労働安全**、**人権保護**、**農場経営管理**に関する取組を行うことで、持続可能な農業生産につながります。
- GAPは、これらの取組状況を記録簿や掲示物によって確認・表示しながら、**農業活動を改善することで、より良い農業経営を実現する取組**です。

GAPを実施すると、経営の改善に効果があります！！

GAP実施による経営改善効果



「改善した」と回答した者の割合

出典：「GAP導入による経営改善効果に関するアンケート調査結果」(H25.1（独）農業・食品産業技術総合研究機構)を基に農林水産省生産局農業環境対策課で作成

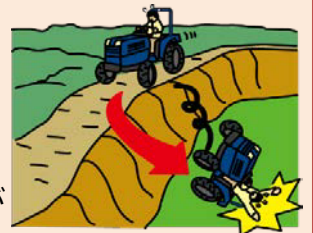
あなたの身の回りにもリスクが潜んでいます！ **—GAPでリスクの軽減を—**

## ⚠ 異物混入

農産物にハサミやガラス片などの異物が混入すれば、消費者はもちろん作業者に  
も危険が及びます。また、異物混入が発生した農業者だけでなく、産地全体で出荷  
停止や商品回収を行うことになり、大きな損害を受けることが考えられます。

## ⚠ 農作業事故

毎年300人以上が亡くなっており、死亡・重傷事故1件が発生する背景には、  
軽傷事故が29件、もう少しで怪我をしたかもしれない事故（ヒヤリ・ハット）が  
300件あると言われています。



# (1) GAPに取り組みましょう！！

## まずは農業生産のレベルアップ！！

## GAPをする

### ステップ1：基本の整理整頓から！

みなさんがこれまでも取り組んできた整理整頓や、生産履歴の記帳が基本です。



写真提供：(一財)日本GAP協会



### ステップ2：農場内を点検し、問題点を改善！

農業生産の中で問題点を見つけたら、①必要な対策を考え、②それを実行し、③その内容を記録・点検し、④継続的に改善をしていきましょう！

#### 食品安全

##### <日頃の取組>

異物混入の防止、  
農薬の適正使用と保管



包装資材のそばに灯油など汚染の原因となるものを置かない

ほかにも  
来訪者への衛生指示 など

#### 環境保全

##### <日頃の取組>

適切な施肥、土壌浸食の防止、  
廃棄物の適正処理・利用



農薬空容器などは分別して処分

ほかにも  
水の使用量把握と節水対策 など

#### 労働安全

##### <日頃の取組>

機械・設備の点検・整備、  
作業安全用の保護具の着用



危険箇所への掲示をする

ほかにも  
事故防止の作業手順書作成 など

#### 人権保護

家族経営協定の締結、  
技能実習生の作業条件遵守

など

#### 農場経営管理

責任者の配置、教育訓練の実施、  
内部点検の実施

など

#### その他

商品回収テストの実施、  
資材仕入先の評価

など

GAPに取り組むときには、普及指導センターや農協にも相談してみましょう。  
普及指導員や営農指導員の中にはGAPの指導・助言ができる方もいます。

#### ○ オンラインでGAPを学べる「これから始めるGAP」を開設しました。

- ・無料でGAPの基礎を学べます。ぜひ、アクセスしてみてください。
- ・このオンライン研修は、「環境保全型農業直接支払交付金」に取り組む上で求められる国際水準GAPに関する研修として利用できます。

URL：<http://gap.maff.go.jp/>



いつでも認証が取れるレベルを目指して取り組んでみましょう！

## (2) GAP認証を取りましょう！！

認証が必要になったら次のステップへ！！

### GAP認証をとる

例えば…

- ・国内外の取引先からの要求に応じたい
- ・東京オリンピック・パラリンピックに出したい
- ・自分の農場を客観的に評価したい

と思ったら

認証を  
取りましょう！！

#### ステップ3：準備完了、いざ審査！

- ✓ 審査会社に申込み。(相談はお早めに)
- ✓ 審査員に取組を評価してもらいます。→ 指摘があれば改善！



#### ステップ4：ついに認証取得！！

- ✓ 引き続き、より良い農業経営に向けて改善していきましょう！
- ※ 認証取得までに標準で半年～1年程度かかります。
- ※ 認証の有効期間は通常1年間です。
- ※ 認証を取得する場合は一定の費用がかかります。



## GAP認証の取得で販売先を拡大！！

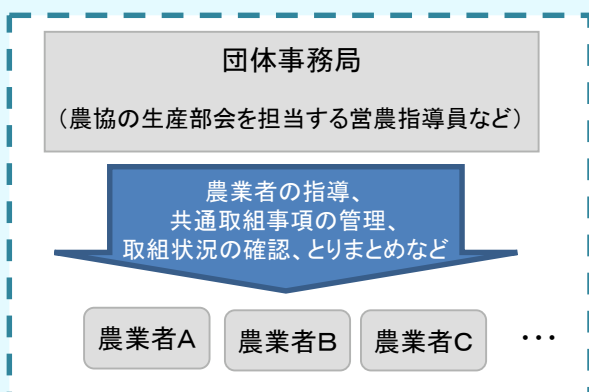
取引先の要望をよく聞いて、必要な認証を取得しましょう。

	JGAP	ASIAGAP	GLOBALG.A.P.
運営主体	一般財団法人 日本GAP協会		Food PLUS GmbH (ドイツ)
国内外のマーケットの現状	一部の大手スーパーなどが取得を要求		一部の大手スーパーなどが取得を要求 特にヨーロッパで普及
東京オリンピック・パラリンピックの調達基準		○	○
GFSI※承認	—	青果物、穀物、茶について承認	青果物について承認

※GFSI(Global Food Safety Initiative)とは、グローバルに展開する小売業者・食品製造業者等が集まり、食品安全の向上と消費者の信頼強化に向け発足した組織(世界70カ国、約400社が加入するCGF(The Consumer Goods Forum)の下部組織)。

## 団体認証に取り組むことで個々の農業者の負担を軽減！！

複数の農業者が集まったグループで認証取得を目指しましょう！



<団体認証の効果>

- 取組内容の一部が団体の取組として共通化されることで、個々の農業者の皆さんの負担が軽減されます！
- グループの規模が大きくなるほど、個々の農業者の皆さんの費用負担が軽減します！

※審査費用(例)

個人	団体 (50名の場合：1名あたり)
10万円～55万円程度	2万円～11万円程度

# 重要！ だけど 見落としやすい！ GAPの取組例

日頃、皆さんが行っている取組に加えて、  
以下のような項目にも取り組んでみましょう！

こういう取組もあるんだね。やってみよう！



他に私の農場で必要なことは何か。考えてみよう！



## ○ 食品安全

チェック

- ・ 照明器具の破損による異物混入を防ぐため、例えば、蛍光灯にカバーをつけるなど、破損時の飛散防止対策をしている。
- ・ 作業場所で飲食をする場合は、飲食後に清掃し、又は必要に応じて殺菌をして農産物の衛生に影響がないようにする。

## ○ 環境保全

- ・ 農産物の洗浄後の廃水は、残さを網などで除去した上で排水する。
- ・ 電気や重油、灯油等のエネルギー使用量を把握し、温室効果ガスである二酸化炭素の発生抑制と省エネルギーに努める。

## ○ 労働安全

- ・ ほ場や道路、施設全体の危険な箇所や危険な作業の点検を年1回以上行う。
- ・ 事故発生時のケガに備えて、清潔な水や救急箱がすぐに使えるようになっている。

## ○ 人権保護

- ・ 労働者を雇用している場合、休憩時間や作業場の照明の明るさ、有給休暇の取得やメンタルヘルスなどについて、年1回以上話し合いをし、記録する。

## ○ 農場経営管理

- ・ 農場や資材管理、労務管理等の各部門の責任者がわかる組織図をつくり、担当者を明確にする。

## ○ その他

- ・ 種苗や資材を購入する際には、購入元業者の信頼性の確認を行っている。

## このパンフレットやGAPについてのお問い合わせ

農林水産省 生産局 農業環境対策課（GAP推進グループ）

HPはこちら ▶▶ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/index.html>

電話番号 ▶▶ 03-6744-7188



## ○ GAP情報発信サイト「Goodな農業！GAP-info」

各都道府県におけるGAP認証の取組状況や、GAP関連イベント情報などを掲載

URL：<http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/gap-info.html>

